

戦略的災害医療プロジェクトについて

平時と災害時のつなぎ目の無いシームレスな医療体制の構築を目指す戦略的災害医療プロジェクトにつきましては、年明けの2月を目途に基本戦略の中間取りまとめを行うこととしていますが、それと併せて、次の取組みを実施いたしました。

1 「戦略的災害医療プロジェクト 県民公開講座 ～防ぎ得た死をなくすために～」の開催

県民の皆様には災害医療についての理解を深めていただくとともに、今後の「戦略的災害医療プロジェクト」の施策の充実を図るため、去る11月21日に県立中央病院を主会場、三好病院・海部病院をサテライト会場に、医療関係者や防災関係者など282名の参加のもと、次のとおり県民公開講座を開催しました。

(1) 基調講演

演題：「東日本大震災と東北大学病院の対応」

講師：東北大学 里見 進 総長

ていだん

(2) 鼎談(三者討論)

テーマ：「防ぎ得た死をなくすために」

東北大学 里見 進 総長

徳島大学 香川 征 学長

徳島県 飯泉嘉門 知事

2 夜間災害対処救急搬送訓練について

(自衛隊ヘリコプターによる災害時を想定した夜間救急搬送訓練)

ドクターヘリや消防防災ヘリが運行できない夜間に、災害時の孤立化が懸念される南部圏域における救急搬送体制の確立に向け、自衛隊、消防、医療機関及び地元関係者の御協力のもと、去る11月20日に、陸上自衛隊のヘリコプターにより南阿波ピクニック公園(海陽町)から徳島航空基地(松茂町)まで、負傷者の救急搬送訓練を実施しました。

※ 県内におけるヘリによる災害時夜間救急搬送訓練は、離島(阿南市伊島)において去る7月24日に実施したが、離島以外では、今回が初めて。